動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043（222）7207番

98.12.7 No.4589

組織拡大へ体制強化しよう

鴨川支部大会で団結固める

一二月三日、一四時から、勝浦市・神田において、鴨川支部第四回定期大会を開催した。

関副支部長の開会をうけ、議長には大野君を選出して議事が進められた。

大会の冒頭、照岡支部長は、「九五年十一月の結成から四年目に入った。この三年間、JR当局やJR総連と闘ってきたが、組織拡大に向けて体制を強化しよう。厳しい国鉄闘争の中だが、支部執行部を先頭に闘いぬこう」と訴えた。

来賓として水野勝浦市議、中村御宿町議がかけつけ、「来年四月に勝浦市議選が行なわれるが、少数激戦が予想される。鴨川支部の皆さんのご協力をお願いしたい」（水野市議）、「不況の中で労働運動も本当の正念場となる。来年九月の町議選に向け頑張る」（中村町議）とあいさつを行なった。

その後、本部・中野委員長のあいさつを受け、執行部からの経過報告、会計報告、運動方針案が提起され、質疑応答を行なった後、九八年度の新役員を選出し、団結ガンバロー三唱で第四回提起大会は成功裡に終了した。

【出された主な意見】

◆京葉運輸区や他のところでJR総連がビラをまいたということだが、どのような状況になっているのか。

◆JR総連が、親和会や旅行会などを解体しようということを言っているようだが、組織拡大のチャンスだ。

■九八年度新役員体制■

役職	氏名	職名
支部長	照岡清一	運転士
副〃	関登喜雄	〃
書記長	大藤守紀	〃
執行委員	奈良輪隆	営・〃
	吉野六郎	営・指
	江沢利一	運転士
特執	庄司暁男	〃
	鈴木徳男	〃
会計監査	滝口義勝	営・〃
	出水寿和	営・指

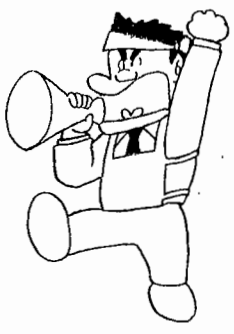
11.29 国会闘争にたつ！ 戦争法案の成立を阻もう！

新ガイドライン関連法 ―― 絶対阻止を誓う

十一月二九日、東京・日比谷野外音楽堂において、反戦共同行動委員会主催の「日米新安保ガイドライン・関連法国会成立阻止全国総決起集会」が開催された。

現在争議中の三一書房労組の三角忠東京反戦共同代表から主催者あいさつを受けたあと、三里塚反対同盟、北富士忍草母の会、王城寺原の闘い、関西新空港反対闘争の各闘いの現場から連帯のあいさつが行なわれた。

沖縄からは違憲共闘会議前議長の宜保幸男さんが沖縄県知事選の報告を行い、「大田氏は、今回の闘いを『人間の尊厳を守り、発展させる闘いだった。これを回復する道は半ばである』、山内徳信氏は『二一世紀の日本の光は、沖縄米軍基地を撤去させる闘いから始まる』といっている。本土も沖縄と一緒になって米軍基地を撤去させれば、日米の関係も変わる。最後に勝つのは私たち民衆、労働者です。県知事選の敗北を出発点に前へ進んでいく。」と力強く決意を表明した。

また百万人署名運動事務局は、「現在署名は四七万筆に達した。意見広告へのご協力をお願いします」との訴えた。

滝口誠反戦共同委事務局長の基調報告ののち、婦人民主クラブ全国協、部落解放同盟全国連、反戦兵士と連帯する会、国鉄、日豊オルグ班、全通、教労、自治労、全学連から決意表明を受け、最後に中野洋反戦共同委代表が「大失業攻勢と反戦・反安保の課題を結合させ、われわれの隊列を増やしていこう。百万人署名運動と全国ネットワークの労働組合の運動を正しく結合して広げ、通常国会を闘っていこう」と来年の課題を提起し、東京駅まで力強いデモを行なった。ガイドライン関連法案を葬り去ろう！